

2 個別事業評価調書

団体名: 相楽中部消防組合

事業名		人命検索用耐熱防火衣整備事業																					
事業の概要	<p>現在の建物は、防火構造のものが多く気密性が高いため、ひとたび屋内から出火すると、消防隊員は空気呼吸器を装着したうえで、炎と有毒ガスの充満した高温の屋内に進入して、消火・救出活動を行うことが一般的になってきており、このとき隊員の屋内進入を安全に行う装備の充実が不可欠であり、また、複雑多様化する現在の災害現場においては、消防隊の活動時における身体の安全確保こそが隊員の士気向上だけでなく、迅速かつ高度な消防・救助活動を実施するうえで重要あると考え、下記の人命検索用耐熱防火衣を一括整備するもの。</p> <p>人命検索用耐熱防火衣(128セット)</p> <table border="0"> <tr> <td>上下式防火服(上衣)</td> <td>小林防火服</td> <td>ブラックテック</td> </tr> <tr> <td>上下式防火服(ズボン)</td> <td>小林防火服</td> <td>ブラックテック</td> </tr> <tr> <td>防火帽/しころ</td> <td>小林防火服</td> <td>KB - 型/ブラックテック</td> </tr> <tr> <td>安全帯</td> <td>TLR - OT521</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火靴</td> <td>ミドリ安全</td> <td>RT932防水静電P - 4</td> </tr> <tr> <td>ヘッドアップライト</td> <td>PL2690C</td> <td></td> </tr> </table>	上下式防火服(上衣)	小林防火服	ブラックテック	上下式防火服(ズボン)	小林防火服	ブラックテック	防火帽/しころ	小林防火服	KB - 型/ブラックテック	安全帯	TLR - OT521		防火靴	ミドリ安全	RT932防水静電P - 4	ヘッドアップライト	PL2690C					
	上下式防火服(上衣)	小林防火服	ブラックテック																				
	上下式防火服(ズボン)	小林防火服	ブラックテック																				
防火帽/しころ	小林防火服	KB - 型/ブラックテック																					
安全帯	TLR - OT521																						
防火靴	ミドリ安全	RT932防水静電P - 4																					
ヘッドアップライト	PL2690C																						
事業期間	平成22年7月16日から平成22年12月14日																						
総事業費	24,742	本年度事業費	24,742	交付金交付額	12,196																		
事業評価	事業の必要性	旧防火衣は、平成10年度及び11年度に整備したものであり、経年変化によって耐火性、防炎性は著しく低下しているものと考えられ、さらに現在消防の主流であるセパレートタイプに比べて屋内進入時の安全性は低く、配備により今後増加すると考えられる災害現場での消防隊の安全性のためにも必要である。																					
	事業の有効性	複雑多様化する現在の災害現場において、活動時における消防隊の安全が確保され、隊員の士気向上だけでなく、迅速かつ高度な消防・救助活動を実施することができる。																					
	事業の効率性	職員全員分の人命検索用耐熱防火衣一式を、一括更新することにより、隊による活動範囲のばらつきがなく、発生した災害事案に効率的な対応ができる。																					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 更新を行った旧防火衣について、状態の良い物については構成市町村の消防団に無償譲渡を行った。																					
		2 住民の自治意識を高める成果 最新の装備を備える消防は、地域住民に安心・安全の意識向上に効果がある。																					
		3 リーディング・モデル成果																					
4 広域的波及成果																							
5 行財政改革に資する成果																							
6 その他の成果 最新の人命検索用耐熱防火衣を配備したことにより、各隊員の士気を高める効果があった。																							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。